



## 2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月1日

上場会社名 西尾レントオール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9699 URL http://www.nishio-rent.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 公志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社管理部門管掌 兼 社長室長 (氏名) 四元 一夫 TEL 06 (6251) 7302  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第3四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	113,882	13.4	11,740	8.8	11,298	6.2	7,107	8.0
2018年9月期第3四半期	100,423	8.7	10,794	24.1	10,636	23.0	6,582	23.1

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 7,439百万円 (12.8%) 2018年9月期第3四半期 6,592百万円 (10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	253.56	253.38
2018年9月期第3四半期	247.68	247.48

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	215,446	97,560	43.7
2018年9月期	188,224	92,819	47.5

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 94,084百万円 2018年9月期 89,378百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,860	8.2	15,880	7.5	15,500	7.0	9,600	3.0	342.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）UNITED POWER & RESOURCES PTE. LTD.、除外 1社（社名）  
詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項  
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	28,391,464株	2018年9月期	28,391,464株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	487,507株	2018年9月期	358,362株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	28,028,931株	2018年9月期3Q	26,577,761株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年10月1日から2019年6月30日)におけるわが国経済は、米国の通商政策や中国経済の減速等により世界経済の動向に不安が続いているなか、企業収益は横ばいながらも高水準であり、設備投資は底堅く推移しました。

建設業界においては、首都圏の再開発工事やオリンピック関連工事が最盛期に入っている他、全国的にも工場・物流倉庫の新築工事や交通インフラの新設・補修工事等が堅調に推移するとともに、災害復旧・防災関連工事も進みました。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、国内市場では、ICT施工・i-Constructionの工種拡大への取り組みやインフラメンテナンス分野のネットワークの充実、プラント分野の商品増強、また、イベント分野ではオリンピック・パラリンピックに向けた体制の構築を進めております。その他、海外市場の規模拡大や工事用車両のカーシェアリングをはじめとしたIT技術を活用したビジネスの展開にも引き続き取り組んでおります。

その結果、連結売上高は113,882百万円(前年同四半期比113.4%)、営業利益11,740百万円(同108.8%)、経常利益11,298百万円(同106.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,107百万円(同108.0%)となりました。なお、EBITDAは32,961百万円(同112.8%)と引続き増加となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### [レンタル関連事業]

道路・土木関連分野では、i-Constructionセミナーを全国で一斉開催し、地元ユーザー向けにi-Constructionの裾野拡大に向けた活動を行った他、オリンピック関連施設のグラウンド工事や河川の災害復旧工事等で、ICT建機を中心とした土木機械や車両等が売上に貢献しました。

建築・設備関連分野では、首都圏の再開発工事や各地の大型新築工事でも最盛期を迎える現場が多く、高所作業機や軽仮設材等の稼働が好調に推移し、売上が拡大しました。また、プラント新設・定修工事が各地で進み、売上に寄与した他、今後の受注拡大に向け大型クローラクレーンを追加導入しました。

イベント・産業界関連分野では、ラグビーワールドカップが行われる競技会場の工事に、芝生養生材が活用された他、国際会議や学会、プライベートショー等、各種イベントが売上に寄与しました。

その結果、売上高は110,531百万円(前年同四半期比113.2%)、営業利益11,209百万円(同107.0%)となりました。

#### [その他]

大型シールド工事向けバッテリー機関車の販売や海外製ダンプトラックの販売が順調に推移し売上を確保しました。

その結果、売上高は3,350百万円(前年同四半期比120.3%)、営業利益508百万円(同183.8%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、215,446百万円と、対前連結会計年度末比で114.5%、27,222百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の増加4,603百万円、流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加3,335百万円、貸与資産の増加10,392百万円、土地の増加1,598百万円、有形固定資産・その他に含まれる建物の増加1,128百万円及びのれんの増加1,517百万円であります。

負債合計は、117,885百万円と、対前連結会計年度末比で123.6%、22,481百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加1,268百万円、短期借入金の増加2,012百万円、流動負債・その他に含まれる設備関係未払金の増加4,275百万円、社債の増加1,185百万円、長期借入金の増加8,161百万円及びリース債務の増加5,696百万円、並びに未払法人税等の減少1,552百万円であります。

純資産合計は、97,560百万円と、対前連結会計年度末比で105.1%、4,741百万円の増加となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月8日に公表しました業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,902	33,505
受取手形及び売掛金	39,660	40,308
商品及び製品	1,420	2,196
仕掛品	1,548	1,870
原材料及び貯蔵品	994	1,195
その他	7,895	12,498
貸倒引当金	△257	△367
流動資産合計	80,165	91,207
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	60,703	71,096
土地	24,208	25,807
その他(純額)	14,380	17,103
有形固定資産合計	99,293	114,008
無形固定資産		
のれん	2,122	3,639
その他	1,159	1,120
無形固定資産合計	3,281	4,760
投資その他の資産		
その他	5,807	5,824
貸倒引当金	△323	△353
投資その他の資産合計	5,483	5,470
固定資産合計	108,058	124,239
資産合計	188,224	215,446
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,400	22,668
短期借入金	2,731	4,744
1年内返済予定の長期借入金	2,901	5,197
1年内償還予定の社債	993	1,029
リース債務	10,574	11,599
未払法人税等	3,020	1,467
賞与引当金	2,235	1,521
役員賞与引当金	147	120
その他	18,280	24,499
流動負債合計	62,285	72,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	437	1,586
長期借入金	7,411	13,277
リース債務	22,907	27,578
役員退職慰労引当金	219	213
退職給付に係る負債	709	760
資産除去債務	751	856
その他	681	762
<b>固定負債合計</b>	<b>33,118</b>	<b>45,036</b>
<b>負債合計</b>	<b>95,404</b>	<b>117,885</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	9,629	9,565
利益剰余金	72,778	77,923
自己株式	△1,065	△1,445
<b>株主資本合計</b>	<b>89,443</b>	<b>94,144</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211	161
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	△275	△226
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△64</b>	<b>△59</b>
新株予約権	30	30
非支配株主持分	3,409	3,446
<b>純資産合計</b>	<b>92,819</b>	<b>97,560</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>188,224</b>	<b>215,446</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	100,423	113,882
売上原価	58,521	67,592
売上総利益	41,902	46,289
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	70	134
給料及び賞与	12,237	13,592
賞与引当金繰入額	1,368	1,424
役員賞与引当金繰入額	106	120
退職給付費用	295	330
役員退職慰労引当金繰入額	22	19
その他	17,007	18,927
販売費及び一般管理費合計	31,107	34,549
営業利益	10,794	11,740
営業外収益		
受取利息	34	42
受取配当金	13	15
受取保険金	59	110
その他	346	313
営業外収益合計	454	482
営業外費用		
支払利息	509	634
為替差損	43	177
その他	58	112
営業外費用合計	611	924
経常利益	10,636	11,298
特別利益		
固定資産売却益	17	17
関係会社株式売却益	—	21
特別利益合計	17	39
特別損失		
固定資産除売却損	73	42
特別損失合計	73	42
税金等調整前四半期純利益	10,581	11,294
法人税、住民税及び事業税	3,532	3,869
法人税等調整額	155	33
法人税等合計	3,687	3,902
四半期純利益	6,893	7,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	310	284
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,582	7,107

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	6,893	7,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△50
繰延ヘッジ損益	△41	7
為替換算調整勘定	△218	90
その他の包括利益合計	△300	47
四半期包括利益	6,592	7,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,291	7,111
非支配株主に係る四半期包括利益	301	327

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、2019年5月7日付で株式を取得したUNITED POWER & RESOURCES PTE. LTD. 及びその子会社4社を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	97,637	2,785	100,423	—	100,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	380	419	△419	—
計	97,675	3,166	100,842	△419	100,423
セグメント利益	10,479	276	10,756	37	10,794

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額37百万円には、セグメント間取引消去37百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レンタル関連事業」セグメントにおいて、NORTH FORK PTY LTDの株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんが1,784百万円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算出された金額です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	110,531	3,350	113,882	—	113,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	307	331	△331	—
計	110,555	3,658	114,213	△331	113,882
セグメント利益	11,209	508	11,718	21	11,740

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋳造機の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額21百万円には、セグメント間取引消去21百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レンタル関連事業」セグメントにおいて、UNITED POWER & RESOURCES PTE. LTD. の株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんが1,957百万円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算出された金額です。